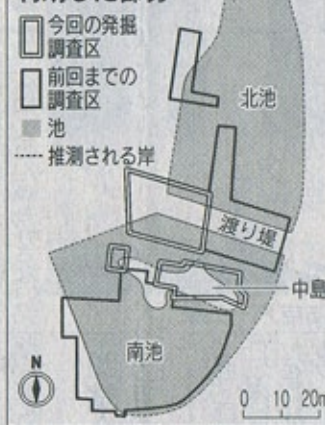


飛鳥京跡 苑池遺構

最古の本格的な宮殿付属庭園とされる飛鳥京跡苑池遺構(奈良県明日香村、七世紀)を調査している奈良県立橿原考古学研究所は四日、池を南北に仕切る渡り堤や南側の池に浮かぶ中島など、庭園の詳しい構造が判明したと発表した。中島には松が植えられ、渡り堤から橋が架けられたとみられる。国内外の賓客を招いたとされる同苑池の当時の様子

浮かぶ中島に松の木

飛鳥京跡苑池遺構で新たに判明した部分



様子鮮明になってきた。積み護岸され、二カ所に張り出しを持つ。北の岸際までの調査区域の周辺約五百平方メートル。中島は東西約三十二メートル、南北約十七メートル。渡り堤(幅約五メートル)はす

渡り堤から橋を渡す

橿原考古学研究所、詳しい構造解明

に確認済みの約二十メートルに加え、今回調査で西にさらに約十二メートル分が分かった。堤を貫通して南北の池を結ぶ長さ七・五メートル、高さ二十五センチの木樋も見つかった。同様の樋は前回調査でも出土しており、二つ目。樋の周辺から儀式に使ったらしい斎串(いぐし)二十六点も出土した。

ソニー製携帯の電池パック回収 56万台分、KDDI発表 KDDIは四日、同社の携帯電話「au(エーユー)」向けのソニー製携帯電話機で電池パックの製造不良が発覚し、十一日から五十六万台分を回収・交換すると発表した。

JR九州ホテル鹿児島 8月1日®
OPEN!
JR西鹿児島駅に隣接。
購入者にはダイレクトメールやホームページで告知し、十日から問い合わせを受け付ける。

伊能忠敬の「大図」206枚

米で写し発見 全容ほぼ復元

江戸時代後期の地理学者、測量家の伊能忠敬(一七四五―一八一八)がつくった日本地図の中で、日本列島の地形を最も細かく描いた「大図」の写し二百六枚を伊能忠敬の研究グループが米・ワシントンの米国家図書館で発見、四日発表した。この発見により、日本列島全体を二百四十四枚で描いた大図のほぼ全容が復元される見込みだ。

日本列島 詳細に描く

大図は一枚の大きさが畳一畳分。北海道から九州まで日本列島を二百四十四に分け、幅三万六千分の一で、縮尺三万六千分の一で、集落や社寺、橋なども忠実に描いている。伊能の死後の一八二二年に完成したが、原図は焼失。関東地方を中心とした計約六十枚の写しが東京の国立国会図書館、千葉県佐倉市の国立歴史民俗博物館などに残って

いるだけだった。今回二百六枚が見つかったことで、国内にある写しを合わせると、欠落する大図

見つけた大図の北海道の部分には「第七軍管」と書かれており、調査にあたった「伊能忠敬研究会」の渡辺一郎代表理事は「陸軍の測量機関が全国地図を作製するために写した大図

が、使用後に何らかのルートで米国に渡ったのではな

図は六枚だけになるとい。日本の近代地図の基礎となった「大日本沿海輿地全図」(伊能図)がほぼ復元されることになり、地理学や歴史学の貴重な資料になりそうだ。

伊能図は海岸線が正確だったことなどから、明治政府も伊能図を中心に江戸期の他の地図なども編集しながら、地図製作を進めた。今回見つかった写しは、明治十年前後に作られたものとみられている。

三月末に渡辺代表理事が米国議会図書館を訪問した

親族への脳死腎移植 移植ネットの決定は違法 市民団体、申し入れ



米国で発見された伊能忠敬の「大図」に描かれた北海道・石狩川周辺

体を感じない地震が多発している富士山について、火山活動の調査を行う気象庁の火山噴火予知連絡会(富士山ワーキンググループ)を説明するため、「どこで何が起

観測強化や事例調査

国内や国外の事例調査を行うことになった。また、メンバーからは観測体制について「地下のマグマの動きがあればとらえられるが、大きな山なので観測点が不足している」との意見も出たという。

富士山観測強化 GPSを増設 富士吉田に、きょう稼働 地下のマグマの動きを示すことされる低周波地震が多発している富士山の観測強化

富士噴火プロセス解明 予知連

予知連

予知連

(座長・藤井敏嗣東大教授)の初「こるか」という想定に合わせて、観測を強化することを確認。長期の間噴火していない火山がどのよう

観測強化や事例調査

予知連

予知連

予知連

予知連

予知連

予知連

予知連

予知連

予知連

予知連

予知連

予知連

予知連

予知連

予知連

予知連

予知連

予知連

予知連

予知連

予知連

予知連

予知連

予知連

予知連